

プログラム 1-3「ジェンダー平等と性の多様性」 学習指導案

段階	時間	授業の展開	指導上の留意点・生徒の学習の到達点
導入	5分	1. 授業のねらいや全体像を知る ・授業の内容(スライド1)	○性の多様性について扱う際は、生徒の中にLGBT等の性的少数者の当事者がいることを念頭に置き、発問等に留意する。
		◎学習目標 身近にあるジェンダーバイアスを理解し、自他の生き方を尊重できる態度を養おう	
展開	5分	2. 性別に基づく思い込みについて考える ・考えてみよう これは誰のセリフ？(スライド2) ・ジェンダーバイアスとは(スライド3)	○【考えてみよう】を通して、身近に性別に対する思い込みを持っている可能性があることを認識する。
	10分	3. 身近にあるジェンダーバイアスを見つける ・ことばを入れ替えたら、違和感？(スライド4) ・考えてみよう ことばを入れ替えたら、違和感？(スライド5)	○普段何気なく話したり、聞いたりしていることにも数多くのジェンダーバイアスが多くあることに気づく。 ○個人ワークとグループワーク両方行うことが望ましい。
	10分	4.ジェンダーバイアスが作られる構造を理解する ・考えてみよう なぜ自分はジェンダーバイアスを持っている？(スライド6) ・ジェンダーバイアスは自分を取りまく社会によって作られる(スライド7)	○ジェンダーバイアスは社会や文化に影響されて形作られることを理解し、無意識にジェンダーバイアスを持つ可能性があることを自覚する。
	5分	5. 性を多面的にとらえる ・多様な性をあらわす要素(スライド8)	○性はからだの性別だけではなく、性的指向や性自認などいくつもの要素が関わって掲載されており、その組み合わせは人の数だけ多様にあることを理解する。

			○性の多様性について扱う際は、生徒の中にLGBT等の性的少数者の当事者がいることを念頭に置き、発問等に留意する。
	10分	<p>6. 性の多様性とジェンダーバイアス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性の多様性とジェンダーバイアス(スライド9) ・性の多様性 日本の現状(スライド10) ・性のことで悩んでいる人がいたら(スライド11) ・性の多様性についてもっと詳しく知りたい(スライド12) 	<p>○性についての無意識の思い込みや男女を前提にしたジェンダーバイアスに自覚的になることで、多様な性のあり方を受け入れることにつながることを認識する。</p> <p>○相談先、参考資料を提示する。</p>
まとめ	5分	<p>7. 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日のまとめ(スライド13) 	